

「なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2015 年日本平和大会 in 富士山」 成功に向けたよびかけ

2015 年 2 月 20 日 2015 年日本平和大会第 2 回実行委員会

戦後・被爆 70 年の今年、日本は戦争か平和かの重大な分かれ道に立っています。

安倍政権は、侵略戦争への反省と平和の願いを込めてつくられた日本国憲法を根本から破壊し、日本を「海外で戦争する国」にする道を強引におしすすめようとしています。

安倍政権は、この通常国会で「海外で戦争する」ための法整備を強行し、日米軍事協力指針も改定し、世界規模でアメリカと共に戦争する体制を築こうとしています。また、沖縄県民の圧倒的多数の民意を無視して、新米軍基地建設を強行し、オスプレイを全国に展開するなど米軍基地の大増強もすすめようとしています。安倍政権はこれを「テロとの戦い」を口実にしながらすすめようとしています。この道はテロと戦争の悪循環に日本が参加し、国民の命を危険にさらす道に他なりません。

しかし、この安倍政権の暴走に対し、広範な国民が反対の声をあげ運動が広がっています。沖縄では新基地建設に反対する「オール沖縄」の勢力が、知事選挙でも、総選挙でも勝利し、県民ぐるみのたたかいがくりひろげられています。弁護士、学者文化人、宗教界等、様々な分野・地域で、立場の違いを超えた平和と憲法を守る共同が広がっています。世論調査では、安倍政権のすすめる憲法改悪、「安保法制」、沖縄新基地、原発再稼働、消費税増税等の悪政に、国民多数が反対しています。いまこの流れをさらに発展させ、安倍政権の暴走を打ち破ることが求められています。

1986 年以来、ほぼ毎年、各地の軍事基地周辺で開催されてきた日本平和大会は、憲法を破壊して日本を米軍の出撃基地にし、その戦争に自衛隊を参戦させる体制づくりをすすめる根っこ＝日米安保条約（日米軍事同盟）と米軍基地をなくすことをめざし、労組、平和・市民団体が共同して開催してきました。それは戦争と米軍基地に反対する国際連帯を強める場ともなってきました。

戦後 70 年の今年の大会は、日本の象徴・世界遺産の富士山のふもと、静岡県御殿場市で開催されます。そこには米軍キャンプ富士と東富士演習場がおかれ、山梨県の北富士演習場と一体に、米軍・自衛隊が海外に「殴りこむ」戦争の訓練をくりひろげています。米海兵隊の 155 ミリりゅう弾砲の実弾射撃訓練や海外侵攻の輸送機オスプレイの訓練の拠点ともなっています。私たちの富士山が、戦後 70 年たった今も、日米軍事同盟の下で侵略のための訓練場として踏み荒らされているのです。地元住民はこれに対し、「富士を撃つな！」「演習場の全面返還を」と不屈のたたかいをくりひろげています。

10 月 31 日、11 月 1 日に御殿場市で開かれる日本平和大会は、東・北富士演習場の実態をしっかり見つめながら、安倍政権の「海外で戦争する国づくり」ストップの国民的運動を結集し、交流する大会です。また、沖縄県民と固く連帯し、オスプレイ撤去、沖縄新基地阻止、米軍基地撤去の運動を、全国的規模で交流する大会です。そして、軍事同盟と基地をなくし憲法にもとづく平和な日本とアジアをつくる展望を学び、国内外の共同を大きく発展させる大会です。

全国各地の職場・地域・学園から運動を広げ、美しい富士山のふもとでともに学び、交流しましょう！